

淑徳大学 全学事項

1. 2024年度外部評価結果をふまえた課題

（2025（令和7）年4月度：内部質保証推進委員会からの依頼事項）

課題	取組主体	対応案（例）	外部評価・ 学生参画
① S-BASIC を学ぶ意義・DP との関連性の理解浸透の促進	高等教育研究開発センター（基盤教育部門）	S-BASIC ポスターの積極的な活用・展開（学生便覧、HP への掲載、教職員研修会等の機会での説明）	外部評価
② S-BASIC に対する学生の意見の収集と改善に向けた仕組みづくり	高等教育研究開発センター（基盤教育部門） 大学教務委員会 学長室	学生参画スタッフ活動と引き続き連携し、教育改善の検討 各種アセスメント等をもとに主幹教員を中心とした授業改善への仕組みの検討	外部評価・ 学生参画
③ アウトカム指標を取り入れた学修成果の客観的検証	高等教育研究開発センター（教育開発部門）	現在検討を進めているアセスメントプラン（再構築案）の完成	外部評価
④ 淑徳大学の特性や強みの発信（教育・研究活動）	アドミッションセンター 教育研究支援センター 学長室	魅力的な教育プログラムの発信 研究のアウトリーチ活動の実施	外部評価
⑤ 淑徳大学の特性や強みの発信（社会貢献活動）	地域共生センター	淑徳大学ともいきリーダーオープンバッジ 発行者数の増加、教職員のともいき活動への参加の促進	外部評価
⑥ 教職学協働による学生生活の向上	大学学生厚生委員会 学長室	学生参画スタッフ活動と引き続き連携し、部活・サークル紹介に係るホームページでの情報発信の促進や学内アルバイトの集約化の検討	学生参画

2.2024 年度自己点検・評価の結果をふまえた課題

(2025(令和7)年1月度:内部質保証推進委員会からの依頼事項)

課題	取組主体	改善計画概要(改善計画シートより)	改善計画記載箇所
⑦ (第4クール成果指標)「達成度評価基準」の策定	大学自己点検・評価委員会	第3クールでは、成果指標ごとに、結果目標(S~D評価)/行動目標(優・良・可・不可)を設定していたが、入力者によって評価のばらつきが見られることを受けて、結果・行動目標とも(S~D評価)に変更する。	*評価項目:1-104
⑧ (第4クール成果指標)「達成度評価」実施年度の設定	大学自己点検・評価委員会	進捗状況の確認は、半期ごと(10月、5月)、行動・結果目標(達成度)の評価実施は、第4クール成果指標(5カ年/2023年度~2027年度)のうち中間年度(3年目/2025年度:2026年5月)と最終年度(5年目/2027年度:2028年5月)に実施する。	*評価項目:1-104
⑨ (第4クール成果指標)改正後設置基準の対応	内部質保証推進委員会	2025年4月1日適用開始に向け、現状と課題の整理、今後のスケジュールを点検し、各担当者が遅滞なく対応を進めるよう進捗管理を実施。	*評価項目:2-105
⑩ (自己点検・評価報告書)第4期認証評価受審に向けた全学的な自己点検・評価	大学自己点検・評価委員会 学部自己点検・評価委員会 関連組織	2024年度の内部質保証体制における自己点検・評価の方法を見直し、より実質的な取組へと変更するとともに動画配信によって、質保証文化の醸成を促す。また、認証評価を枠組みに据えた自己点検・評価方法の実質化を図る。	*評価項目:2-301
⑪ (自己点検・評価報告書)学生の受入	アドミッションセンター・社会福祉学科・栄養学科・こども教育学科・地域創生学科・総合福祉研究科	社会福祉学科では、2025年度入学者選抜より福祉人材の受入れと養成を目的とし、全国福祉高等学校長会加盟校200校を対象に「福祉系特待生指定校」を設定した。また、プレゼンテーション形式の「探究型」入試を2024年度入学者選抜より導入し、就学意欲や本学への理解を高めることを狙っている。	*評価項目:5-201